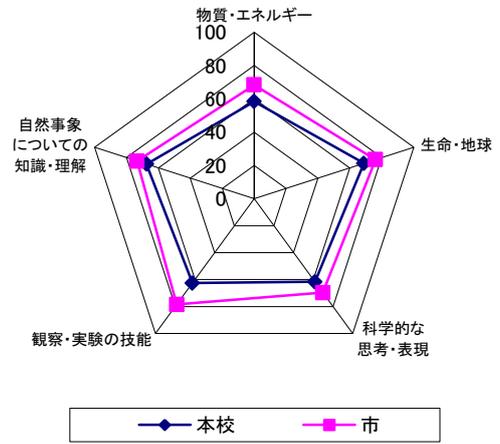


# 宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	58.4	68.3	68.1
	生命・地球	68.8	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	61.7	69.7	68.0
	観察・実験の技能	62.6	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	67.4	73.4	73.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は市の平均を下回っている。 ○ものが燃え続けるためには空気が入れ替わる必要があることを説明する問いなど、思考・表現する問題では良好な状況が見られる。 ●観察・実験に使用する器具の名称や使い方について課題が見られる。</p>	<p>・理科の授業で学んだことを日常生活と結び付けて捉えることができるよう、折に触れて振り返る。 ・観察・実験では、一人一人に問題意識を持たせ、解決できるよう、複数の実験器具を用意して活動させる。結果と考察を区別して記述できるよう個別に指導する。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は市の平均を下回っているが、「物質・エネルギー」の領域よりは差が小さい。 ○普段から自然環境に積極的に接しているためか、動物の成長や食物連鎖についてよく理解している。 ●人体の臓器の名称と位置について、課題が見られる。</p>	<p>・目に見えない現象(内臓の働きや植物の光合成など)については、模型や映像資料を活用して、実感を伴った理解になるよう工夫する。 ・科学的な用語の定着を図るために、単元末などに、学んだことをキーワードを使って記述させる場を多く設定する。</p>